



金沢市で「災害時の通信・放送の確保」講演会を開催 ～ 臨時地デジ中継局・臨時災害放送局の活用とドローンによる通信確保 ～

北陸情報通信協議会は、総務省北陸総合通信局とともに、平成29年6月16日（金）、KKRホテル金沢において「災害時の通信・放送の確保」講演会を開催しました。講演会には、国、自治体、電気通信事業者、放送事業者など約120名が参加しました。

はじめに、北陸総合通信局防災対策推進室の瀬高隆裕室長が「災害時における通信・放送の確保への取組」と題し、被災者支援情報や生活関連情報を提供するため自治体が開設する

「臨時災害放送局」(*)制度の概要、開設の手順、北陸総合通信局からの放送設備の貸出（本年7月設備配備）について説明するとともに、近年増加する訪日外国人や高齢者の方々へ災害情報を確実に届けるために総務省が取り組んでいる「情報難民ゼロプロジェクト」を紹介しました。

(*)【臨時災害放送局ホームページ】

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/shisaku/ringisaigaihouhoukyoku.html>

次に、KDDI株式会社技術企画本部電波部企画・制度グループの遠藤晃マネージャーが「KDDIにおける災害対策に関するさまざまな取組」と題し、被災時の通信インフラの状況と自社の対応、船舶に携帯電話基地局を搭載し海側から通信エリアを構築する方法、実験段階の新たな取組としてドローンに携帯電話基地局を搭載し空から通信エリアを構築する方法を紹介しました。

参加者アンケートの結果では、90%以上が「参考になった」と回答、自治体等災害復旧関係者に絞った設問「災害支援・復旧に役立つか」に対しては、95%が「役立つと思う」「概ね役立つと思う」と回答しました。



【北陸総合通信局
瀬高防災対策推進室長】



【KDDI 遠藤マネージャー】



【臨時災害放送局の設備】



【携帯電話基地局を搭載したドローン】